



11月の園だより

社会福祉法人のぞみの会
大塚保育園
大塚子どもふれあい館
園長 石坂 芳
令和5年11月1日発行 No.477

紅葉の便りも聞かれる頃となりました。
秋は実りも季節でもあります。果物、野菜等々美味しい食べ物が沢山あります。
先月、幼児クラスがサツマイモ掘りに行きました。私のところに『こんな大きなお芋を掘ってきたよ』と自慢げに話しに来てくれました。『大きなお芋を家族に見せてあげて食べてね』と話したら『うん』と笑顔でクラスへ戻っていく姿に、行事をこんなに楽しんでいるのだと実感いたしました。
私たち周りも、お子さんと季節を感じ、楽しみながら日々の生活を送っていくことも良いと思います。
これから寒くなりますが、しっかり食べて十分な睡眠を取り、風邪をひかないように親子共々、元気で過ごしてください。

園長

11月クラスコラム

いすぐみ



みんなで！かくれんぼ！
りすぐみはかくれんぼが大好き★
レースカーテンをめくって～
いないいないはあっ～！！



じゅんばん
まってるよ！！

この せまい くうかんも
おちつくみたいです★

幼児クラス

この頃年長さんから年少さんまで一緒にルールのある遊びをする姿がよく見られます。
“こおり鬼” “かわり鬼” “だるまさんがころんだ” “花いちもんめ” などなど。
ルールをみんなで確認して守って遊んでこそ楽しい遊び。
年長さんが小さい人に教えてあげる姿、微笑ましいです！



ほしくみ



お友達と手をつないでお散歩へ！
斜面をどんどん登ったり、おしりをついたり、ゆっくり下ったりと考えながら遊んでいます。
どんぐりや蟻を見つくと興味津々で観察…
「みてみてー！」とたくさん見せてくれるほし組さんです。



秋のえんそく、秋わくわく、芋ほりと楽しいイベントが盛りだくさんだった幼児クラス。
最近、ハロウィンごっこや、廃材を使っての工作。生き物に関心をもち、そこからのごっこ遊びをしたり日々の生活や遊びの中から発見や楽しみを見つけています。

12月には、冬わくわくがありますね。

大人が子どもにさせるような行事ではなく、日々の生活や遊びを大切に普段やってきたこと子どもたちの“すき”や“興味”を見てもらったり、お家の方と一緒に楽しむことができると良いなと思っています。
子どもたちがこの時期に必要なことを体験できるように、私たち大人は環境を整えていくことを大切に過ごしています。
これからも行事のあり方について考えていきたいと思っています。

1日(水) 手洗い指導(ひかり) 体操のじかん(にじ)
2日(木) 手洗い指導(そら) リトミック(ひかり・にじ)
7日(火) 手洗い指導(にじ) 消火訓練 うたのじかん

行事予定

8日(水) 乳児健診 体操のじかん(そら)
9日(木) 手洗い指導(分園) リトミック(にじ・そら)
11日(土) ホームカミング(22卒青帽子)
14日(火) おべんとう箱の日 うたのじかん

15日(水) 手洗い指導(つき) 体操のじかん(ひかり)
16日(木) リトミック(そら・ひかり)
17日(金) 誕生会
29日(水) 冬わくわく2023リハーサル

【自己肯定感を下げない叱り方〈8つのポイント〉と注意点(その②)】

《叱るときの“8つのポイント”》

①～④は10月号をご覧ください。

- お子さんの自己肯定感を下げたまま叱りつづけてはいませんか？大人にとっては理解しづらいことかもしれませんが、お子さんにはお子さんなりの言い分があることもあります。叱る前にまずお子さんの話をしっかりと聞き、そのうえで「こうしたほうが良いと思うよ」などと正しい行動を伝えてあげてはいかがでしょうか？
 - 5) お子さんの言い分を聞いてから叱る**
お子さんが何かいけないことをしたからと、頭ごなしに叱りつけてはいませんか？大人にとっては理解しづらいことかもしれませんが、お子さんにはお子さんなりの言い分があることもあります。叱る前にまずお子さんの話をしっかりと聞き、そのうえで「こうしたほうが良いと思うよ」などと正しい行動を伝えてあげてはいかがでしょうか？
 - 6) 本当にいけないことは真顔で厳しく叱る**
怪我につながることや人に迷惑をかけることなど、本当にいけないことをお子さんがしたときは、笑わずに厳しい口調で叱るようにしましょう。
そうすることで「いけないことなんだ」とお子さんに強く印象付けることができるはずです。
 - 7) 改善したら認める**
お子さんも叱るだけでなく、その後お子さんが行動を改めることができたら、しっかりと認めてあげるといいですね。いきなり完璧に直すことは難しいかもしれませんが、少しでもできたらそれを認めることで、お子さんは自信をつけられるかもしれません。
 - 8) お子さんの目線に立つ**
お子さんを叱るときは、立ったままでなくお子さんと目線が合うように腰を落としてあげるといいでしょう。お子さんは大人よりも小さいため立ったまま叱るとお子さんに威圧感を与えてしまいかねません。
お子さん自身を否定する言葉を使わないことを意識しましょう。
叱る対象はあくまでお子さんの「行為」であり、お子さん自身ではありません。
お子さんの気持ちを否定しない、叱る基準を嫌嫌で変えない、感情的に叱らない、返事を強要しない、昔の事を持ち出さない、叱ることを避けない事が大切です。
お子さんの自己肯定感を下げたくないからと、お子さんを叱ること自体を避けてしまう人も珍しくありません。しかし「何をしても叱られない」ことで、お子さんは「大人は見てくれないんだ」と感じてしまい、むしろ自己肯定感を下げたまま叱りつづけてしまうリスクもあるといえます。叱ることを恐れるのではなく、叱り方を意識し、お子さんに「きちんとあなたを見ていますよ」ということを伝えられるといいですね。
もしもお子さんを感情的に叱ってしまい「あんな叱り方しなければよかった」と後悔したなら、お子さんに謝るようにすると、良い見本を見せられるチャンスになりそうですね。また謝ったあとはお子さんを抱きしめ、愛情を伝えてあげるといいでしょう。
- お子さんには正しい行動ができるようになってほしいものですが、ただ厳しく叱れば良いというわけではありません。お子さんの自己肯定感を損なわず、効果的に叱るためにも、ご紹介したポイントを意識してみてくださいはいかがでしょうか？

～秋わくわく2023無事に終わりました～

今年のあきわくわく2023は、祖父母の方も見に来て下さったり、卒園児競技や、保護者の方のサプライズ競技もあり、お子さん達も大喜びでした。
大勢の保護者の方からアンケートのご協力も有難うございました。
後日集約したものを配信させていただきます。

退園しました

りすぐみのお友達
また遊びに来てね♪

～お子さんの日々の活動の写真を コドモンにて配信します～

幼児クラス・つき・うさぎ組は保護者の方が時間の空いている時に観覧できるよう、記録を11月よりアプリ配信していきます。
「何をしたか。できたか」という事ではなく、そこに至る過程を、園での遊びを通じて、お子さんが日々学んでいる事、興味関心を持っていることをお伝えしていきます。
よろしければ観覧いただければ幸いです。

つき組うさぎ組は連絡ノートは10月末日で終了しました。
詳しくは掲示されているお知らせをご確認ください。
今後もその記録をもとに保育者のかかわりや保育環境をより良いものにしていきたいと考えております。
お子さんの写真を配信してほしくない場合はお知らせください。
尚、りす・ひよこ・ゆめ・ほし組については変更はありません。

和田中学校の生徒さん4名が
10/30(月)～11/1(水)
3日間職業体験に来てます。

新しい職員のお知らせ

調理師 2名

よろしくお願ひします。